

基本課題V 社会参画（政策・方針決定の場へ男女が平等に参画する）

目標11 政策・方針決定過程への女性の積極的参画と登用促進

施策	具体的な施策	実施状況	男女共同参画の視点	担当課
(1) 政策・方針決定の場への女性の登用促進	① 審議会等への女性の登用促進 一方の性に偏ることなく、市民の声を市政に反映させるよう努めます。 ・全ての審議会等で一方の性が30%を下回らない委員構成 ・公募制度の推進と公募枠の拡大	・全ての審議会等で一方の性が30%を下回らない委員構成 平成18年度4月1日における附属機関の女性委員の数は、676人中 172人（25.4%）である。	4	行政改革推進課
		・公募制度の推進と公募枠の拡大 平成18年度は10の審議会で公募を行い、8の審議会について31人の応募があった（うち女性は6人）。公募委員19人のうち3人の女性を選任した。	4	行政改革推進課
	② 女性職員の管理職への積極的登用 市役所女性職員の管理職への登用の機会を拡充します。 ・女性職員の管理職への積極的登用	・女性職員の職域拡大と人材育成 意欲と能力のある女性職員の管理職登用を行った。（主幹への昇格25人 うち女性1人）管理職選考試験の女性受験者が少ないことが登用結果に影響しており、女性受験者を増やす対策を検討していく。	1, 3	人事課
③ 市民活動団体役員への登用促進 女性が役員会等の意思決定の場へ参画できるよう、働きかけます。 ・町会・自治会・市民活動団体・PTA等への働きかけ	・町会・自治会・PTA等への働きかけ 町会等の運営に関する「町会・自治会・区役員の手引き」を作成・配布し、町会長等への女性の登用を促す内容を掲載した。平成18年度町会・自治会長275人のうち、女性は12人である。	3	市民活動推進課・男女共同参画室	

(2) 女性のエンパ ワーメントに向け ての環境整備	①人材リストの整備と活用 男女共同参画社会の実現への尽力が可能な個人および団体のリストを整備します。 また、審議会等の女性委員の登用率を高めるため、リストの活用を図ります。 ・フェザーリストの整備・活用	・フェザーリストの整備・活用 平成18年度はリストの整備・活用は行わなかった。今後リストのあり方を検討していきたい。	4	男女共同参画室
	②女性のエンパワーメントに向けての学習プログラムの充実 女性のエンパワーメントに必要な学習プログラムの充実を図ります。 ・男女共同参画講座の開催	・男女共同参画講座の開催 市民団体「これから会」に対し、9月26日に男女共同参画研修会を実施した。(参加者数36人)	1, 4, 5	男女共同参画室

目標12 防災・災害復興への女性の参画

施策	具体的な施策	実施状況	男女共同参画の視点	担当課
<p>(1) 防災に関する政策・方針決定過程への女性の参画</p>	<p>①防災会議等への女性の登用促進 男性にかたよりがちな防災の分野に、女性の声を反映するよう努めます。 ・防災会議等への女性の登用促進 および積極的に女性の声を反映できる仕組みの検討</p>	<p>・防災会議等への女性の登用促進 および積極的に女性の声を反映できる仕組みの検討 防災会議等への女性の登用については、防災会議の委員は、柏市域にかかわる防災関係機関の代表が主な構成員となり、あて職であるため、現状では女性委員がいない状況になっている。今後、委員の委嘱のあたっては、女性の登用を働きかける。 国民保護協議会の委員もあて職であるため、現状では2名が女性委員である。</p>	1, 5	防災安全課
	<p>②女性消防職員の積極的採用・登用 防災の現場に女性職員が配置されるよう、女性消防職員について、積極的な採用・登用に努めます。その人材育成や管理職への登用の機会を拡充します。 ・女性消防職員の採用、人材育成と管理職への積極的登用</p>	<p>・女性消防職員の採用、人材育成と管理職への積極的登用 採用区分を上級職・初級職の他に新たに救急救命士枠を設け、男女の区別なく募集した。50名の受験者のうち2名の女性受験者があったが採用にはいかなかった。 救急隊員3名、指令課員6名の合計9名の女性を登用し、当務体制で勤務している。また、2名の管理職を救急課主幹と指令課副当務司令として登用している。</p>	1, 4, 5	消防本部
<p>(2) 男女共同参画の視点に立った地域防災計画等の見直し</p>	<p>①男女共同参画の視点に立った地域防災計画等の見直し 地域防災計画・各種対応マニュアル・支援策に、被災時の男女のニーズの違い等、男女双方に充分配慮しているかの視点を踏まえるよう努めます。 ・地域防災計画等の点検および見直し</p>	<p>・地域防災計画等の点検および見直し 10月25日アミュゼ柏で新潟県女性財団理事 大島照美子氏の講演会「防災・災害復興と女性～新潟県中越大震災から見たもの」を開催し、防災計画等を見直す一つのきっかけ作りを行った。参加者245人(男129人、女112人、不明4人)</p>	1, 4, 5	防災安全課・男女共同参画室

	<p>②災害時における女性の人権の尊重  災害時における女性をめぐる問題を人権問題の観点から洗い出し、地域防災計画等の運用に活かす。  ・災害時の女性問題及び解決策の検討</p>	<p>・災害時の女性問題及び解決策の検討  講演会や情報紙「フリートーク」を通じて、災害時の女性の人権侵害について触れ、女性が防災の分野で活動することの意義を唱えた。</p>	4, 5	防災安全課・男女共同参画室
(3) 地域における防災意識の向上および女性リーダーの育成	<p>①地域における防災意識の向上および女性リーダーの育成  緊急時の対処法、復興時の体制等に関する知識の普及・学習機会の拡充を図ります。その際、女性の参画を促進し、災害時・復興活動における女性リーダーの育成に努めます。  ・防災講座の開催  ・女性リーダーの育成</p>	<p>・防災講座の開催  各町会・自治会や自主防災組織に対する防災講習会を38回実施し、3,392人参加した。(市民防災フォーラムを含む)</p>	5	防災安全課
		<p>・女性リーダーの育成  防災推進委員は、自主防災組織を立ち上げている各町会・自治会から合計353名(男性:317名,女性:36名)の推薦をいただいている。防災講習会等に女性や中高校生の参加を促すよう努める。</p>	4, 5	防災安全課
		<p>講演会や情報紙で防災の分野で活躍する女性たちを目にすることで女性リーダー育成のための動機付けにはなったのではないかな。</p>	4	男女共同参画室